

令和6年度 大分大学総合型選抜入試問題

小 論 文

(福祉健康科学部)

福祉健康科学科 理学療法コース

解答時間 60分
配 点 100点

注意 解答はすべて解答用紙に記入すること。

令和6年度(2024年度)
大分大学福祉健康科学部 総合型選抜入試問題
福祉健康科学科 理学療法コース

問題 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人は「真実」を知り得ることはできない、真実は神のみぞ知る、と書きました。私たち人間は、地上を這いつくばりながら、これは何だろう？ どうしてだろう？ と、事実を真摯に探究し、それを積み重ねていって、考え続けることしかできないのです。

たとえば、飛行機も宇宙船もなかった時代、人は地球が宇宙からどのように見えるのかもわかりませんでした。もちろん、広大な海の青さや豊かな大地の緑の深さ、青空に漂う雲の白さは、地上から見て知っていましたから、地球が青と緑、白を中心とした天体として見えるだろうということは予想できたかもしれませんが、あくまで予想でした。

旧ソ連の宇宙飛行士ガガーリンが、一九六一年に人類史上初めて宇宙飛行をして「地球は青かった」という言葉を残し、六八年にアメリカのアポロ八号に乗っていた宇宙飛行士たちが、史上初めて地球のカラー写真を撮影したことで、ようやく「神の視点」に近づき、地球は青いということが明確になりました。

ただしそれは、人間の網膜を通して地球を宇宙から見ると「青かった」にすぎません。人間以外の動物は、そもそも色の見え方が違ってきます。牛や馬はモノクロの景色を見ているような状態だと言われていますし、犬や猫は赤と青の違いくらいしか識別できないと言われています。やはり「真実の地球の色」は、神様にしかわからないということかもしれません。

これを踏まえれば、「思考力のない人」とは、「真実や正解が必ずあると思いつく人」、そして「他者の言ったことを、そのままただひたすら真に受けてしまう人」と考えることができるかもしれません。

反対に「思考力のある人」とは、「私たち人間は、真実になんか到達できない」という限界を知った上で、自分なりに問いを立て、少しでも客観的事実を積み重ねて真実に近づこうと考える努力をしている人だと言えます。

つまり何ごとも、少しでも疑問に思うことがあれば、「本当なのかな？」「どうしてこういうことを言うのかな？」と、一歩立ち止まって、自分の頭で考えることができる人が、思考力のある人だということです。

私たちは学校で「正解のある問い」について学びますが、社会に出たときに正解のない問いを自分でどう考えるか。事実を集め、きっと真実はこうではないかなと推測する力、それこそが思考力です。

とはいえ、人間が真実に近づく努力をしても、何が正解で何が正解ではなかったかなんて、あとになってわかることもあれば最後までわからないこともあります。でもこれはむしろ、いいことだと言えるでしょう。

大学受験に失敗して絶望感を味わった、でも志望していなかった大学に入って生涯の友人や天職となる

仕事を得ることができた、という場合、人はあとから「あのとき落ちてよかったんだ」と思い直し、立ち直ることができます。「あのとき合格していれば、もっと違うバラ色の人生が待っていたんだよ！」なんて、もしわかったとして何になるでしょう。

答えが何であれ、自分自身で、自分の未来をよりよく創っていけばいいのです。

思考力は、「自分がよりよく変わる力」です。思考力があれば、たとえ失敗をしても立ち上がり、自分なりの「よりよい未来」に向かって、歩いていくことができます。

これからも、真摯に考えていきましょう。

(出典：池上彰、『社会にでるあなたに伝えたい なぜ、いま思考力が必要なのか?』、講談社、2022年より抜粋・一部改変)

問 下線部についての著者の主張を説明した上で、思考力を高めるためにはどのようなことが必要かあなたの考えを600字以内(句読点含む)で述べなさい。